

# 新春談

## 輝く女性アスリートからの メッセーجز

問合せ／秘書広報課 ☎ 241

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京五輪）までおよそ1年半。世界のトップアスリート同士の真剣勝負が楽しみになってきました。富士見市にも世界で戦う女性アスリートがいることをご存知でしょうか。

今回は、ロンドンオリンピックレスリング女子48kg級金メダリストの小原日登美さん、サッカーU-20女子ワールドカップフランス大会優勝メンバーの佐藤瑞夏さん、第4〜7回女子野球ワールドカップ優勝メンバーの六角彩子さんをお招きし、東京五輪や市のスポーツ振興についてお話しいただきました。

### 目標があることの大切さ

**市長** 明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。まずは、小原さんにレスリン

で負けたとしても一生懸命頑張った自分を認められるようになりました。

**市長** ロンドンオリンピックでの金メダル獲得までに多くの苦難を乗り越えてこられたんですね。そして現在、小原さんは東京五輪を目指す選手の指導をしています。小原さんにとってオリンピックとはどのようなものですか。

**小原さん** 競技開始から金メダル獲得までにいろいろなお話があり、一言で言うのは難しいですが、間違いないのは、すべてをかけてでも叶えたい夢だったということです。私だけではなく、家族、友人、一緒に頑張ってきた仲間たちみんなの夢でした。そして今、今度は指導者として再度オリンピックを目指すことになりました。選手と信頼関係を築き、意識を高く持たせて、私自身も成長するんだという気持ちで取り組んでいます。

**市長** 市では、市民の皆さんに東京五輪をさらに身近に感じていただけるよう、市の姉妹都市であるシャバツ市があるセルビア共和国の選手の事前キャンプ地の誘致を進めています。セルビア共和国の一流選手のプレーを間近で観てもらおうと同時に、選手との交流を図ることが市のスポーツ振興とともによりよいまちづくりが進むと考えています。一流の選手のプレーを間近で観

グを始めたきっかけや現在まで続けてこられた理由をお伺いします。

**小原さん** 私は小さいころから体を動かすことが大好きでした。小学3年生からレスリングを始めたことで、それまではなかった目標ができました。レスリング自体も大好きですが、自分の目標を見つけたことが、現在まで続けてこられた理由だと思います。

**市長** 小原さんはご自身の講演などで成功だけでなく挫折についても触れられます。現役のころ、一度帰郷し心身を休めたと聞きますが、復帰までにはどのような気持ちの動きがありましたか。

**小原さん** 一度マットを離れるまでは勝ち負けがすべてでした。ある敗戦をきっかけに、しばらくレスリングから離れた後、久しぶりにマットに上がった時、私はレスリングが大好きなんだと実感しました。そして、勝ち負け以上に目標へ向かう過程、そして目標があることの大切さに気づき、もし試合

られる機会づくりとしては、富士見レスリング週間(23ページ参照)の開催にも小原さんにご協力いただきました。

**小原さん** 市民の皆さんや子どもたちにも、レベルの高いプレーを目の前で観ることで得られる興奮や目標を見つける機会を届けられれば幸いです。

**市長** 小原さんは富士見キッズレスリング教室を開催されていますが、指導するうえで心がけていることはありますか。

**小原さん** 競技力の向上より、人の話を素直に聞くことや感謝の気持ちを持つこと、しっかりとあいさつができることなど、レスリングを通して人間としての成長を促し、苦しい場面に立った時も乗り越えていけるような精神を育みたいと思っています。

### 苦しい場面でこそ プラスに考える

**市長** 次に、佐藤さんにお伺いします。佐藤さんはサッカーの魅力をどのように感じていますか。

**佐藤さん** 小学1年生でサッカーを始めたのですが、最初は先に始めていた子たちとの差が大きく、練習も大変で落ち込むこともありましたが、チームメイトが支えてくれました。あのころ

(写真右から)

#### 佐藤 瑞夏さん

ジェフユナイテッド市原・千葉レディース所属  
FIFA U-17女子ワールドカップコスタリカ2014とFIFA U-20女子ワールドカップフランス2018に日本代表として選出され、優勝を飾る。平成26年度に富士見市スポーツ栄誉賞受賞。

#### 小原 日登美さん

自衛隊体育学校所属  
2000年から世界選手権51kg級で6度の優勝。2010年から世界選手権48kg級連覇。ロンドンオリンピック女子レスリング48kg級金メダル獲得。平成24年度に富士見市スポーツ栄誉賞受賞。



紙面全体写真から、AR動画が見られます。AR動画の利用方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



#### 六角 彩子さん

NPO法人女子硬式野球サムライ所属  
2010年第4回IBAF女子ワールドカップベネズエラ大会から2016年第7回WBSC女子野球ワールドカップ韓国釜山大会まで日本代表として出場し、4連覇。ベネズエラ大会ではMVPに輝いた。平成26年度に富士見市スポーツ栄誉賞受賞。

#### 星野 光弘 市長



Hitomi Obara  
Wrestling

のみんなのおかげで今の自分がいるのだと感じます。サッカーはチームワークが魅力の一つ。みんなでベクトルを合わせて戦わなくてはいけない難しさがあります。一丸となって戦い、勝つた時の喜びはひとしおです。特に、ワールドカップフランス大会での優勝は最高でした。

**市長** ワールドカップフランス大会では試合の出場機会が得られず、悔しい思いもしたのではないかと思います。が、モチベーションはどのように保たれたのですか。

**佐藤さん** スターティングメンバーは試合の中で自然とモチベーションを上げられますが、ベンチメンバーだからこそ感じられることもあります。客観的に試合を見られることをプラスに考えることがチームを支え、試合の結果にもつながるのだと感じます。

**市長** 市内小中学校に通いながら遠方のクラブチームでサッカーに励んでいる

た佐藤さんは、距離的な問題以外にも苦労があったのではないのでしょうか。

**佐藤さん** サッカーに集中するあまり勉強を後回しにしてしまうこともありましたが、友達や先生などがフォローしてくれました。サッカーで結果を出して恩返しをしたいと思っています。

**市長** 佐藤さんは現在ジェフユナイテッド市原・千葉レディースの一員として活躍しながら、東京ベルエポック美容専門学校にも通われ、サッカーと美容という2つの道を全力で歩まれています。どちらの夢もあきらめずに頑張ったのはどのような思いからですか。

**佐藤さん** 小さいころからサッカーだけでなく、美容にも興味がありました。スポーツとエステは実はつながっている部分があり、身体のしくみを知ることとコンディショニングにも役立ちます。それに、ここにいる皆さんと同じく私も負けず嫌い。どちらも中途半端



Mizuka Sato  
Football

にしたくないですから。  
**結果だけでなく、普及のことも考え、行動する**

**市長** 続いて、六角さんにお伺いします。六角さんは埼玉栄高校女子野球部に入学するまで男子と一緒に野球をしていたと聞きましたが、その当時のことを教えてください。

**六角さん** 兄の影響で野球を始めたのが小学4年生。小中学校時代は野球をやっている女子は私一人だけでした。男子は中学校くらいから体が大きくなり、体力差が出てきましたが、細かい技術には関係がないので、一生懸命練習しました。やはり私も負けず嫌いで、練習量も男子に負けませんでした。

**市長** 皆さんの競技の中では一番競技人口が少ないかもしれませぬ。



©自衛隊体育学校

**自衛隊体育学校**  
昭和36年に自衛隊の共同機関として、陸上自衛隊朝霞駐屯地に部隊の体育指導者やオリンピックなどの国際級選手の育成、体育に関する調査研究を目的として創設。以降、すべてのオリンピックに選手を輩出してきた。



©1992 JEF.FC

**ジェフユナイテッド市原・千葉レディース**  
千葉県市原市および千葉市をホームタウンとする日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)加盟の女子サッカークラブ。佐藤さんは同クラブでミッドフィルダーを務める。

**六角さん** そうですね。しかし、競技人口が少ない中でやってきたからこそ、みんな野球が大好きです。選手同士の結束も強く、代表チームでも先輩方がやりやすい雰囲気を作ってくれました。後輩もそれに応えて動き、チームが機能していましたね。

**市長** 施設面でも足りない部分があるのではないのでしょうか。

**六角さん** そうですね。野球に限らない課題だと思いますが、全国的にキャッチボールをする場所の確保が難しいと聞いています。

**市長** 先般開催したタウンミーティングでも、市民の皆さんから子どもたちがキャッチボールやボール蹴りができる場所がないという意見をいただきました。今後のスポーツ施策の参考にしたいと思います。

六角さんはワールドカップ連覇やMVP獲得を経験してこられました。その一方で、周囲には女子野球の継続をあきらめた方も多かったのではないのでしょうか。六角さんはどのようにして自分を奮い立たせてきましたか。

**六角さん** やはり野球が好きで気持ち強いから続けてこられたのだと思います。また、ある時期から結果を出すのと同時に女子野球の普及について考え、行動するようになったことも大き

いと思います。日本だけでなく、世界全体の底上げを図らないと注目されない。で、世界各地の女子野球普及活動事業にも積極的に参加しています。私たちのチームにも台湾の選手が留学中です。少しずつ輪を広げていきたいです。

**市長** 毎年12月に富士見高校グラウンドで開催している「サムライベースボールフェスタ」もその一環なのですね。

**六角さん** 同フェスタは、経験者も未経験者も一緒にプレーすることで、女子野球の普及や競技レベルの底上げを図ることを目的に開催しています。我々NPO法人女子硬式野球サムライは各地の少年少女野球チームの野球教室なども行っています。これからも、市と協働しているいろいろなことに取り組みたいと考えています。

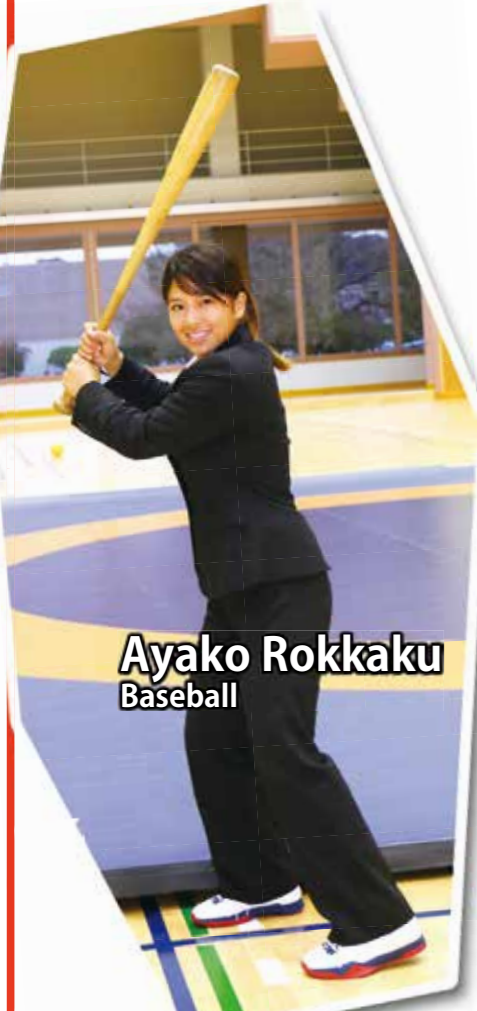
**市長** 最後に、皆さんの今後の目標を教えてください。

**六角さん** まずは今指導している選手を東京五輪に出場させることです。また、富士見キッズレスリング教室の子どもたちを高校生まで育成し、心も体も成長させて羽ばたかせたいと思っています。富士見市はとてもあたたかいまち。さらに元気で活気あるまちにな

**頑張る皆さんは市の宝物**

**市長** 最後に、皆さんの今後の目標を教えてください。

**小原さん** まずは今指導している選手を東京五輪に出場させることです。また、富士見キッズレスリング教室の子どもたちを高校生まで育成し、心も体も成長させて羽ばたかせたいと思っています。富士見市はとてもあたたかいまち。さらに元気で活気あるまちにな



Ayako Rokkaku  
Baseball



© NPO法人女子硬式野球サムライ

**NPO法人女子硬式野球サムライ**  
六角さんが所属している女子野球チーム。女子野球の普及・発展を目的に設立されたNPO法人。本拠地は針ヶ谷谷にあり、各地で女子野球教室などを開催している。



**サムライベースボールフェスタ**  
NPO法人女子硬式野球サムライが毎年開催している野球教室。年齢・経験を問わず「野球が大好きな女性」を対象としている。